

山縣里紗 福田一帆
工学院大学情報学部情報デザイン学科

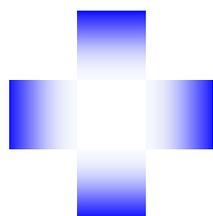


図1. グレア錯視

放射状の輝度変化の中央の白い領域が明るく輝いて見える。

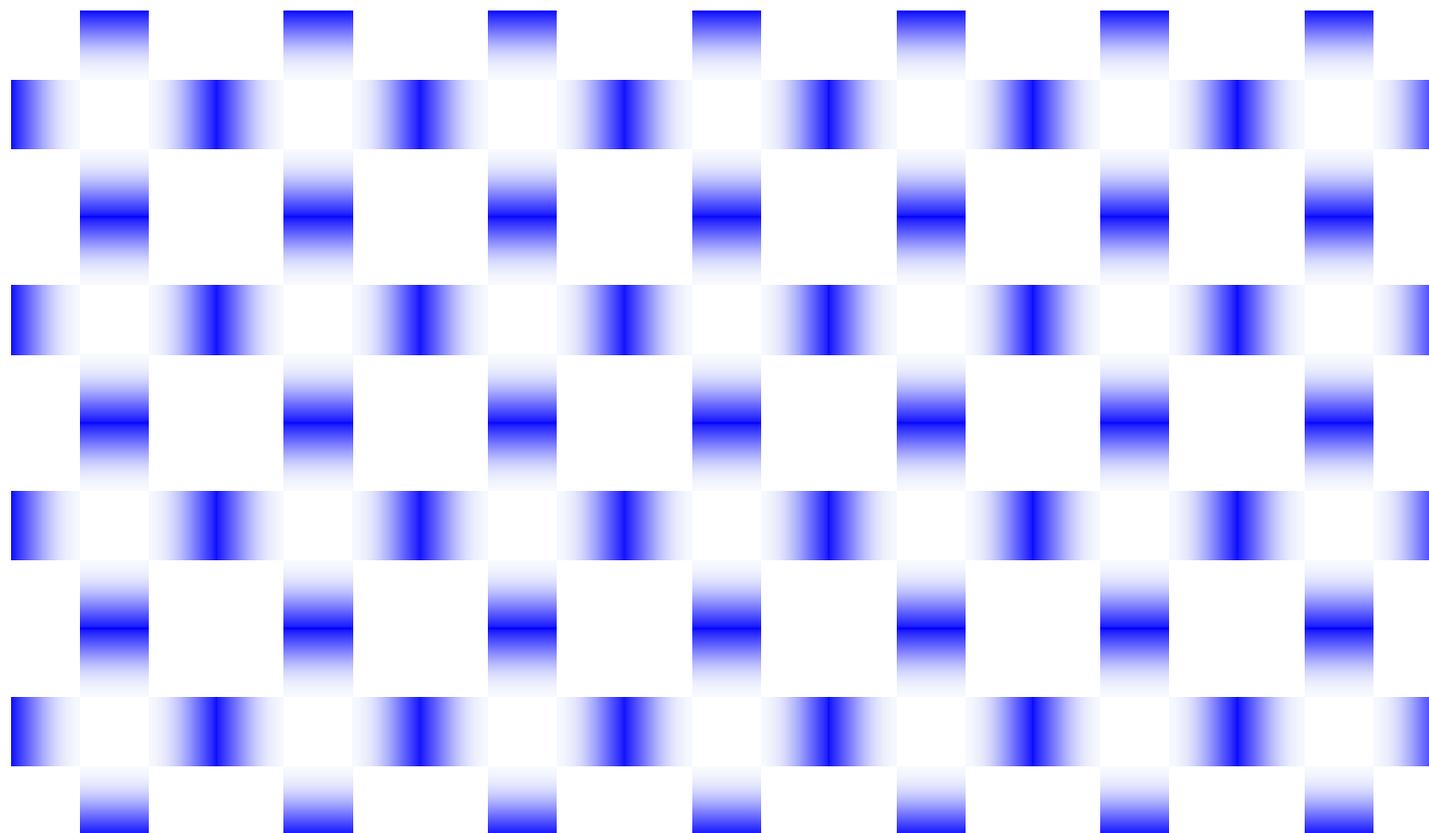


図2. 明滅グレア錯視

格子状に連結配置したグレア錯視図形が明るく輝いて見える知覚と、格子の間の大きな正方形の領域が手前に見えて輝きが消失する知覚が交互に現れる。

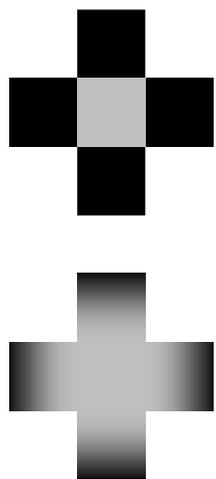


図3. グレア錯視 (低輝度)

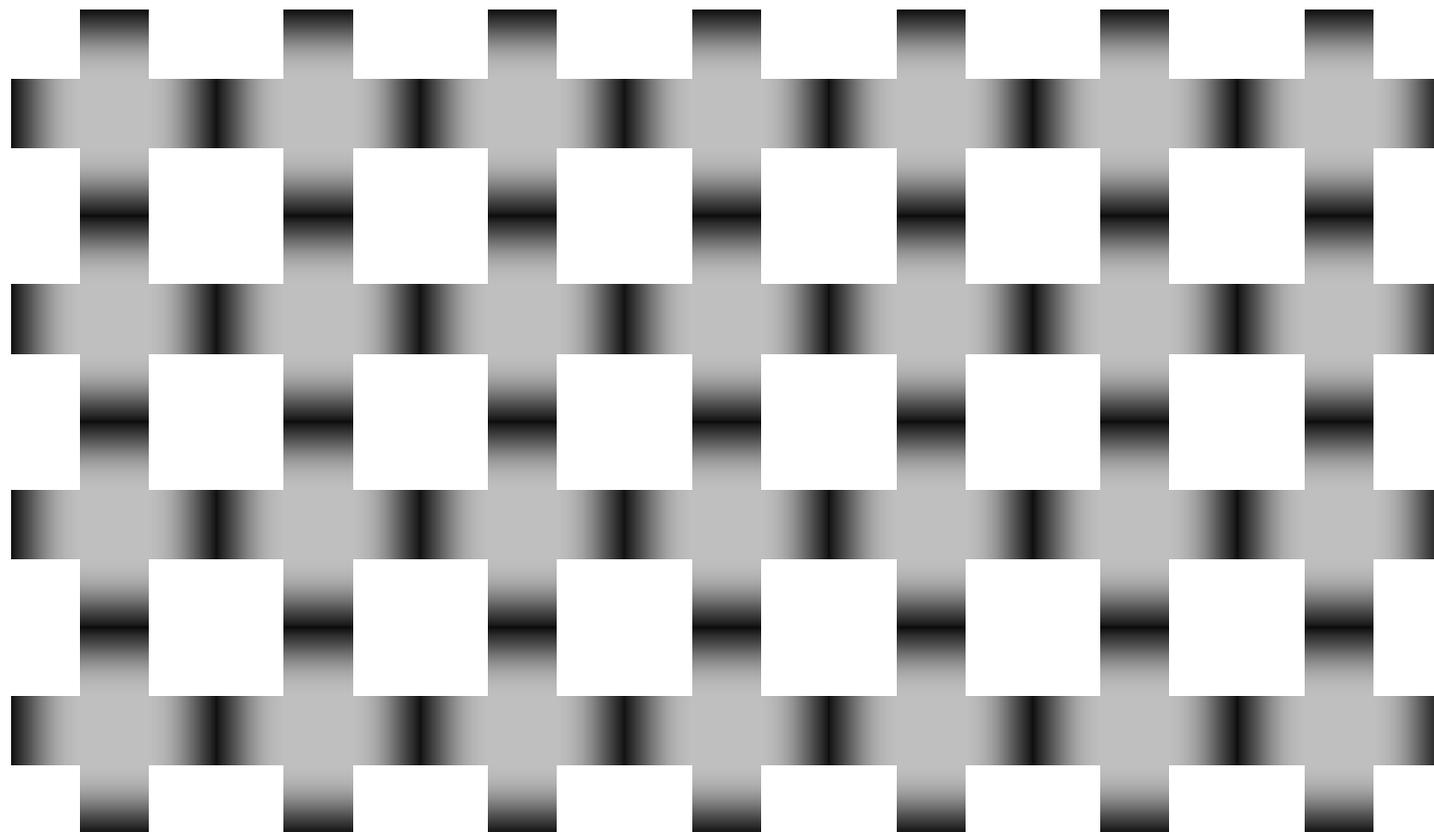


図4. 明滅グレア錯視 (低輝度)

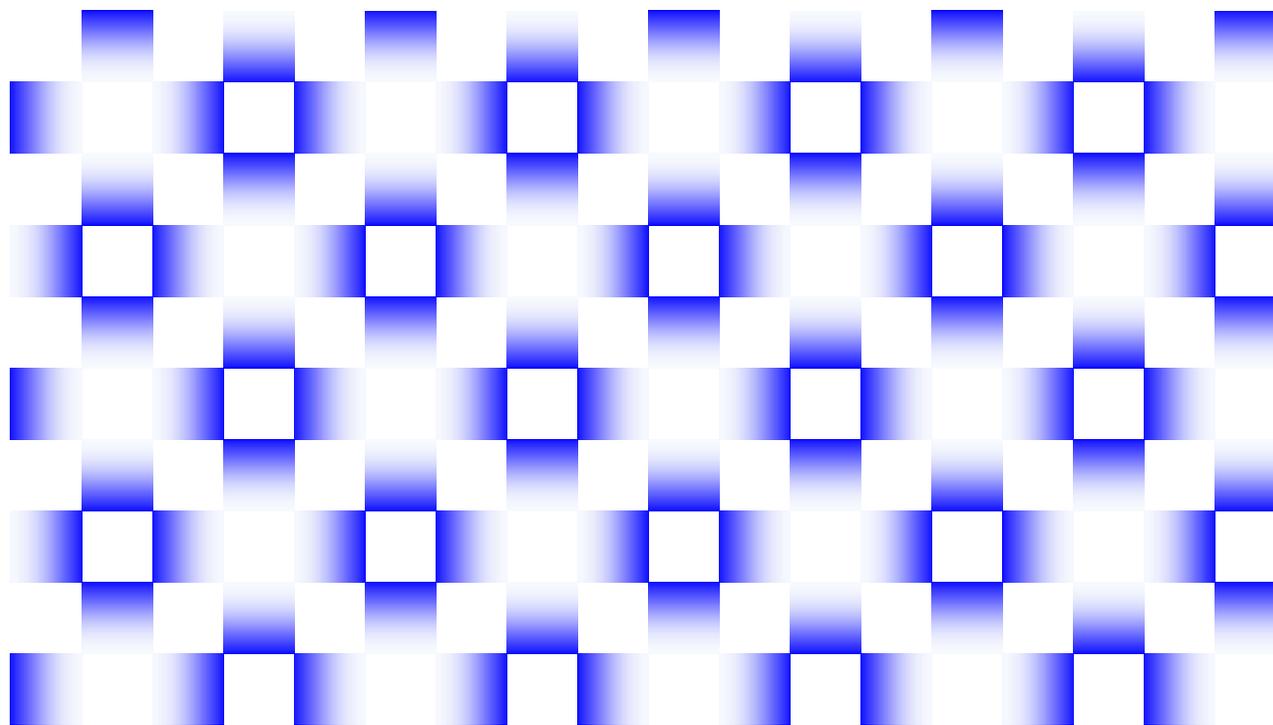


図5. パターンの異なる明滅グレア錯視

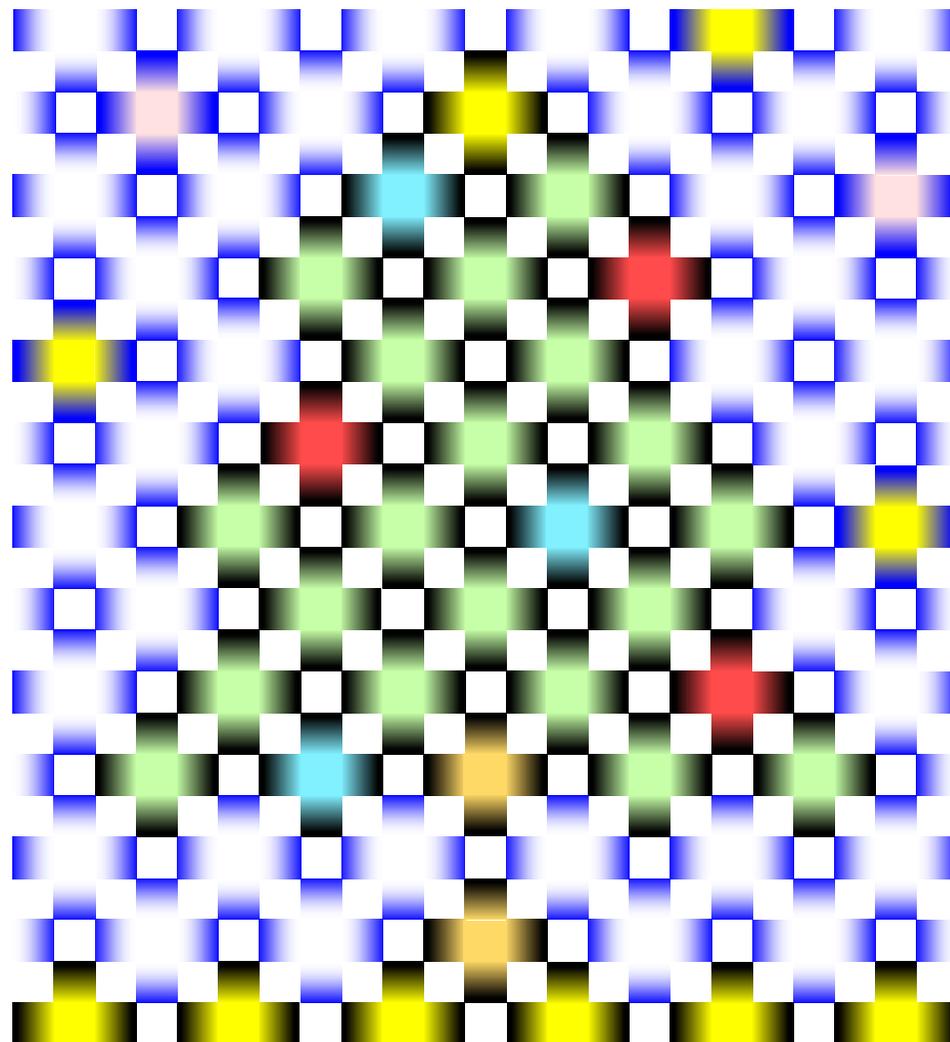


図6. 明滅グレア錯視を利用したアートの例